



'We transform the world with culture'

Europeana Strategy 2015-2020

国立情報学研究所／東京大学 高野明彦



'The dark matter of the internet is open, social, peer-to-peer and read-write'

Michael Peter Edson

We have worked together for the past 5 years to collect and create structured information (metadata) about the objects held in our combined collections. We've developed data standards to make that information interoperable on the web using the Europeana Data Model, and we have agreed to share that information as widely as possible by applying the Creative Commons Public Domain Mark. We've made all this data available through a single interface, www.europeana.eu. At the same time, we have started to engage users very personally in their shared history through collection days across Europe, www.europeana1914-1918 (the largest repository of personal stories about the First World War) and www.europeana1989. We think these are

long

2020年には
ポータルからプラットフォームへ

From portal to platform

To continue our success, we need to reconsider our initial aim of building a single access digital museum, library and archive for Europe - a place where you're invited to look back at the great achievements of the past. We still believe that this is a good idea, but technology allows us to do so much more and we have to work much harder to meet rising user expectations. People want to re-use and play with the material, to interact with others and participate in creating something new. To enable this, we need to build a bigger set of high quality material and a shared infrastructure that enables re-use and creates value for all stakeholders. We need to start behaving like a platform - a place not only to visit, but also to build on, play in and create with.



メタデータ3000万件のうち
35%は再利用可能コンテンツ！

連想情報学: 連想技術による新しいMLA連携基盤の構築

Year	Museum 美術館・博物館	Library 本・図書館	Archives 街の記憶
2002		 <p>WebcatPlus 全国の大学図書館1000館の蔵書1000万冊を概要/目次情報で連想検索</p>	
2004	 <p>文化遺産オンライン 全国の美術館・博物館に所蔵された文化財を写真付きで解説するサイト</p>	 <p>新書マップ 現代的な関心を反映する新書12000冊をテーマ書棚に分類した読書案内</p>	
<div data-bbox="88 596 691 733" style="border: 1px solid black; background-color: #fde9d9; padding: 5px; text-align: center;"> <p>日本の文化財ポータル 11万件</p> </div>		 <p>BOOK TOWN じんぼう 世界的な本の街・神田神保町のポータルサイト。古書店170店の店舗情報、新刊書・古書在庫を連想検索</p>	
2006		 <p>想 - IMAGINE Book Search 本に関する様々な情報源を連想検索でつないで横断的に探索できる情報サービス。2008年度グッドデザイン賞受賞、第6回東京インタラクティブ・アド・アワード入賞</p>	
			 <p>神保町にタッチ 大型タッチパネルで神保町の航空写真に手が触れながら街の魅力を発見できる</p>
2007	 <p>Powers of Information 文化財1000点の高精細画像アーカイブを大型タッチパネルで楽しむサービス</p>	 <p>千代田図書館 新書マップコーナー 新書を見台に置くだけで関連する情報が連想検索されるセルフファレンス環境を構築</p>	 <p>神田神保町 本と街の案内所 神保町の真ん中に本と街の情報を提供する案内所を開設</p>
			 <p>神保町へ行こう 同時にテーマで巡る散歩道や街の魅力を発信するポータルサイトを公開</p>

2009



国立美術館 遊歩館

美術館の所蔵品を自由に組み合わせる新しい見方を提案する電子企画展サービス

東京国立近代美術館
ゴーギャン展 インサイト・ビューコンテンツ
ゴーギャンの「我々はどこから来たのか」を対象に、絵画の各種モチーフを読み解きながら、その世界へ分け入っていきける電子展示作品



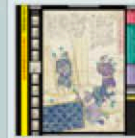
神奈川県立近代美術館
「美術館はぼくらの宝箱」展
美術館の収蔵作品やDBなどを組合せて、子供達の鑑賞体験を追体験できる美術館

国立美術館版 想—IMAGINE

国立美術館4館が公開している美術作品などのデータベースと他機関の情報との連想的に検索できるサービス

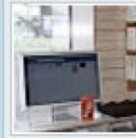
早稲田大学演劇博物館版 想—IMAGINE

演劇博物館が公開する浮世絵などの文化財アーカイブと他機関の情報とを連想的に検索できるサービス



渋沢栄一記念財団 実業錦絵絵引

錦絵に書き込まれた物を絵を手がかりに閲覧検索する「絵引き」サービス



まちとしょテラソ (小布施町立図書館)

地域の文化的情報のアーカイブ・発信の拠点として機能する図書館構想を想・IMAGINE技術で支援

2010



Webcat Plus

本・作品・人を手がかりに、大学図書館、公共図書館、新刊書店、古書店から情報を探り出して整理するための「電子書斎」機能を備えた図書検索サイト



徳川美術館版
Powers of Information
特別展にあわせて開発した、タッチパネルで楽しむことができる電子企画展



斯道文庫版
Powers of Information
慶應義塾大学附属研究所斯道文庫の書物を高精細画像で楽しむことができる

日本の図書館ポータル
(NDL+NII) 2000万件

2011



高精細画像で絵巻を鑑賞
国宝 玄奘三蔵絵の世界
特別展にあわせて開発した、高精細画像を鑑賞できる電子企画展



小布施正倉

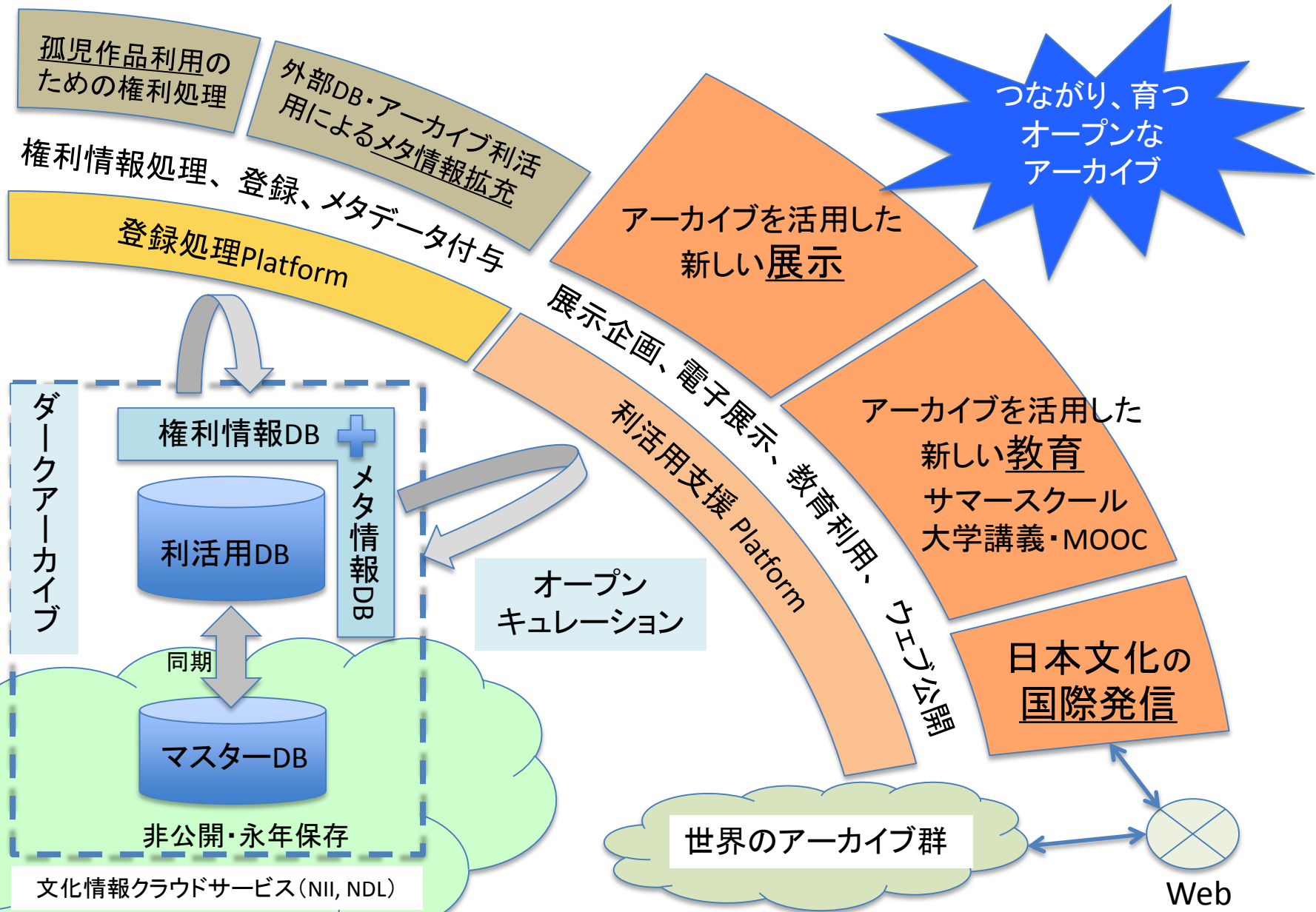
長野県小布施町内に点在する文化遺産を検索・一覧できる



e読書ラボ

本の街・神保町にオープンした小さな公開実験室。電子書籍端末、紙の本、パソコンを自由に組み合わせて未来の読書を体験できる

新システムのビジョン



新システムの基本方針

文化情報の統合的なプラットフォーム

- 収蔵資料管理、権利情報処理、展示企画、研究・教育、国際発信をサポート
- 標準メタデータ体系(典拠情報など)による外部情報システムとの連携
- デジタル資料の保全(ダークアーカイブ、遠隔バックアップ等)

オープンキュレーション環境の実現

- 企画展示アーカイブ、特集雑誌、研究書などに沿ったブラウズ環境
- 専門家、研究者、学習者など多様な利用者の知見を収集・整理
- 電子展示、研究・教育のためのオーサリング環境

拡張性の高いシステム構築

- 変化に柔軟なシステム設計(つながり、育つシステム構成)
- オープンソース・ソフトウェアの活用(信頼性、安全性)
- システムの保守・運用負担の軽減(特定ベンダーにロックインしない)

文化関係資料のアーカイブの将来的な全体像

文化関係資料のアーカイブ
に関する有識者会議
参考資料

● 利活用

国際文化交流

教育・研究活用

地域活性化

新産業創出

● 文化ナショナルアーカイブ（日本版ヨーロッパアーナ）

- ・文化庁と国立情報学研究所等が連携して運用
- ・様々な分野のアーカイブに共通のプラットフォームを提供

・文化情報発信基盤

（横断検索、ナビゲーション、関連性発見）

・コンテンツの創造基盤

（デジタル情報の編集・加工による付加価値の高いコンテンツの創造）

連携

国立
国会図書館

・NDLの収蔵図書に関するデータベースの活用

・アーカイブのNDLのシステム上での閲覧

● 個別のアーカイブ機関

- ・他の機関とのネットワーク形成（分野別アーカイブの構築・拠点の整備）
- ・現物資料の収集・保存、デジタル化、アーカイブ構築

美術館
博物館

大学
研究機関

民間施設

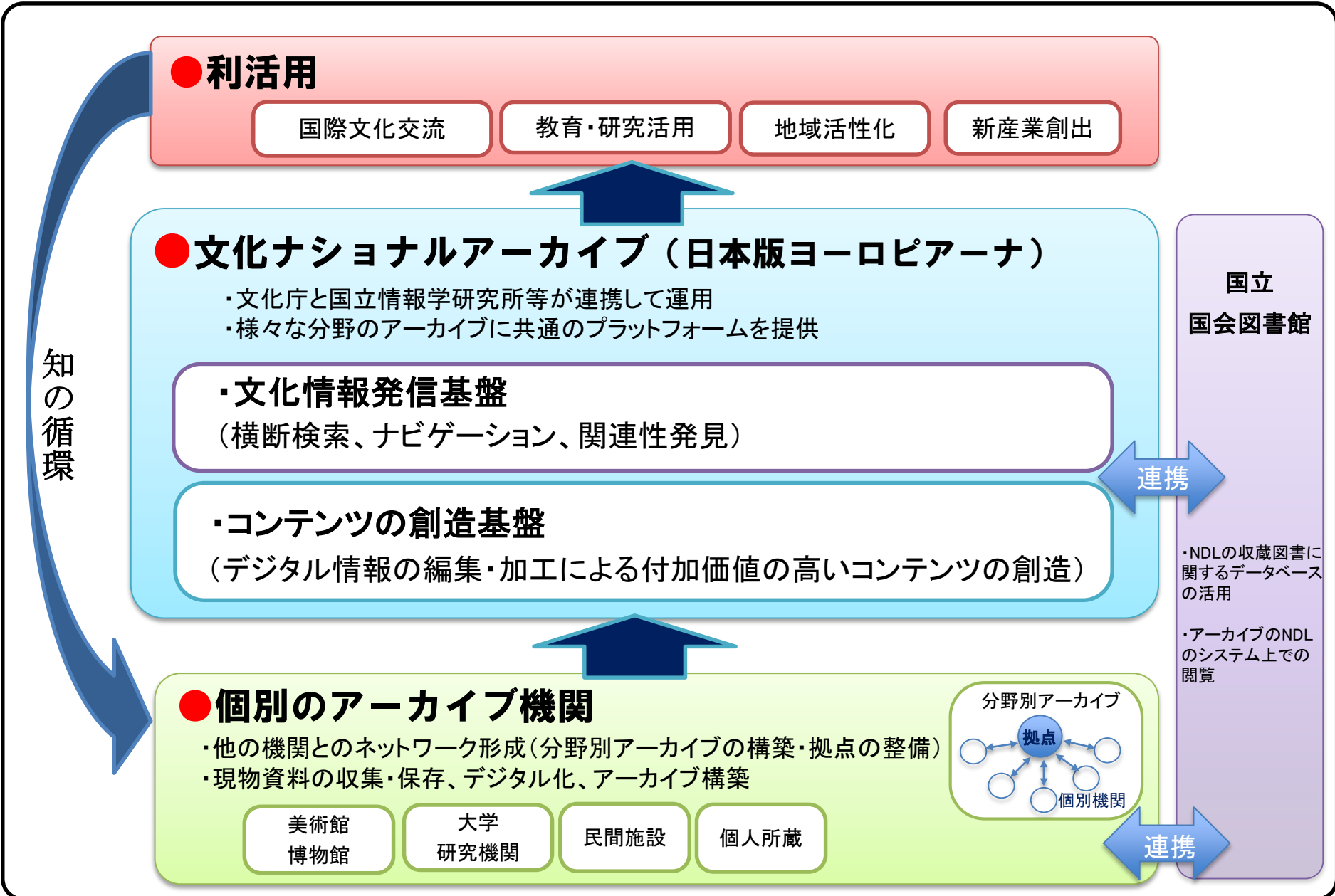
個人所蔵

分野別アーカイブ



連携

知の循環



ナショナルアーカイブの全体像

